

授業科目名 <英訳>	中国語学中国文学(特殊講義) Chinese Language and Literature (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 池田 巧					
配当 学年	全回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 後期	曜時限	木1	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	中古音と唐代音 [2]										
【授業の概要・目的】											
中国語は典型的な声調言語であり、声調によって語を区別する機能があることが類型特徴となっている。本講義では「声調とは何か」について多角的に分析する。中国語の音調の機能と実態を、どのように記録して分析するのか。古代中国語の調類と現代語との対応関係はどうなっているのか。古代の声調は、如何に推定できるのか。声調についての基本的な知識と、分析法を整理して提示しつつ、中国語およびアジアの諸言語における音調の機能と特性について概観し考察してみたい。											
【到達目標】											
本講義では、主として現代中国語について、聴覚的に音調を認識するしくみとそれを記述する方法について学び、これまでの研究で何がどこまで明らかにされて来たのかについて理解を深める。中国語の声調の歴史的変遷を概観するとともに、時代と地域によってどのような特徴があるのか、あわせてアジアの声調言語についても知見を広める。											
【授業計画と内容】											
テーマは順不同、ひとつのトピックについて2～3回の授業を予定しているが、内容によっては回数に増減が生じる可能性がある。 1．授業の方針と計画について 2．古代の声調：平上去入 3．中国語諸方言の声調 4．声調の復元と調値の変化 5．声調言語（1）タイ系諸語 6．声調言語（2）チベット語 7．声調の起源											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
平常点評価：授業への取り組みと小レポート											
【教科書】											
使用しない											
【参考書等】											
（参考書） 授業中に紹介する											
【授業外学習（予習・復習）等】											
テーマに応じて授業時に指示する											
（その他（オフィスアワー等））											
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。											